



「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に係る 取組状況について

京都北都信用金庫は、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に係る取組状況をお知らせいたします。

今後も、常に「何がお客さまのためになるか」を真剣に考え、質の高い金融サービスを提供することにより、お客さまの安定的な資産形成に資するよう、より徹底したお客さま本位の業務運営に努めてまいります。

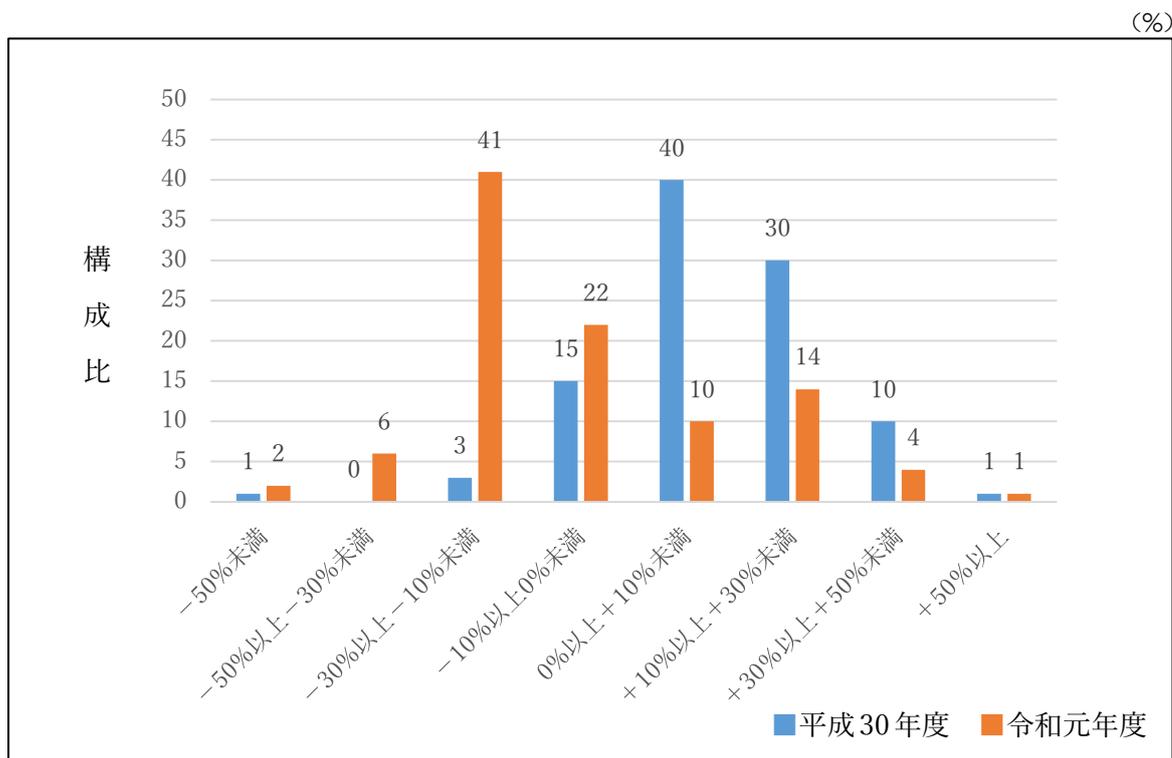
また、この取組方針に係る取組状況を定期的に公表するとともに、適時この取組方針の見直しを図ってまいります。

<成果指標【共通KPI】>

新型コロナウイルス感染症拡大などを背景とした金融資本市場の混乱により、運用環境が悪化したことも大きく影響し、当金庫投資信託を保有しているお客さまの運用状況についても大きく悪化しました。

◇運用損益別顧客比率

当金庫投資信託を保有しているお客さまの運用損益状況を、運用損益率区分ごとに表示しています。令和元年度は、運用損益率がプラス(0%以上)のお客さまは29%でした。



基準日：令和2年3月末時点(平成15年6月以降の数値をもとに算出しています)

運用損益：基準日時点の評価金額+累計受取分配金額(税引後)+累計売却金額-累計買付金額(販売手数料(税込)含む)

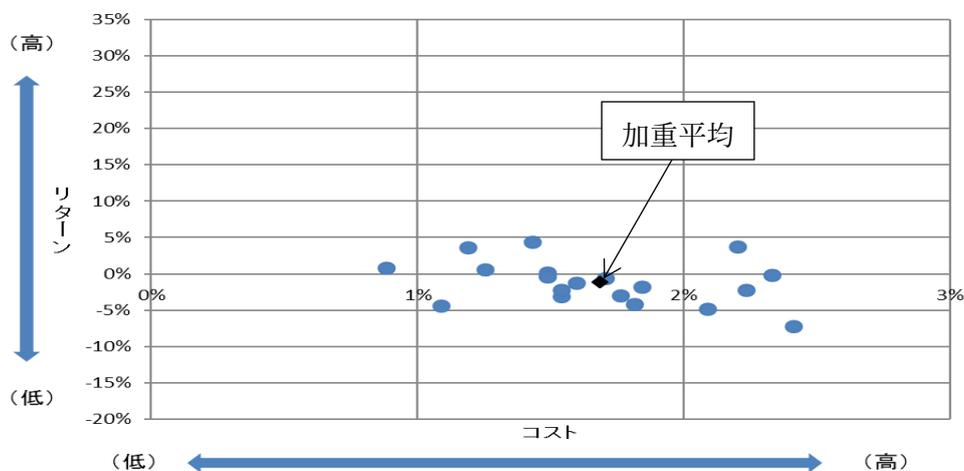
運用損益率：上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出



◇投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

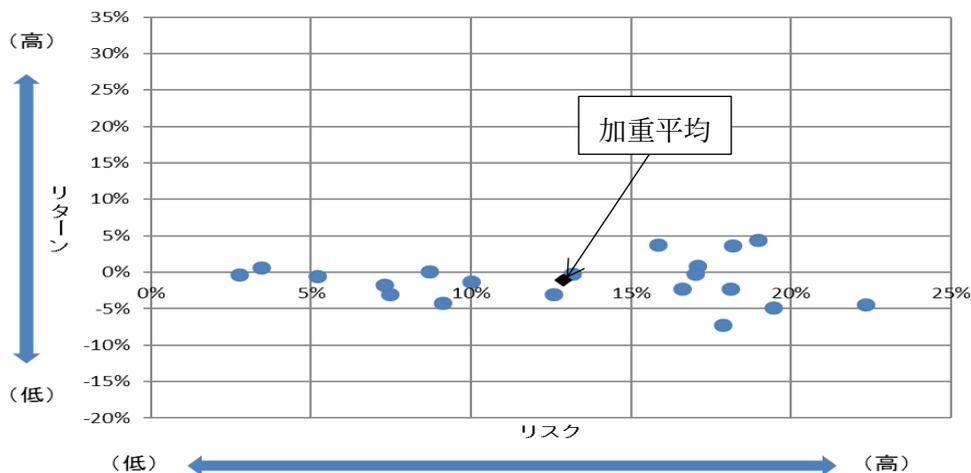
当金庫の投資信託の残高上位20銘柄について、コストやリスクに対するリターンを表示しています。残高上位20銘柄の平均コスト1.69%、平均リスク12.87%に対し、平均リターンは-1.12%となりました。

投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.69%	-1.12%

投資信託預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン



残高加重平均値	リスク	リターン
	12.87%	-1.12%

基準日：令和2年3月末時点

対象ファンド：投資信託の預かり資産残高上位20銘柄(設定後5年以上)

コスト：(販売時手数料率(税込)÷5)+信託報酬率(税込)

リターン：過去5年間のトータルリターン(年率換算)

騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後(税引前)の基準価額を使用

リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後(税引前)の基準価額を使用

※上記は将来における当金庫の取扱の投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。



当金庫の投資信託の残高上位20銘柄は以下の通りです。

(令和2年3月末時点)

No	ファンド名	運用会社
1	しんきんリートオープン(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
2	新光US-REITオープン	アセットマネジメントOne
3	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	三菱UFJ国際投信
4	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	アセットマネジメントOne
5	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント投信
6	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
7	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
8	三井住友・グローバル・リート・オープン	三井住友DSアセットマネジメント
9	京都・滋賀インデックスファンド	野村アセットマネジメント
10	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	三井住友DSアセットマネジメント
11	DIAM世界3資産オープン(毎月決算型)	アセットマネジメントOne
12	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	三井住友DSアセットマネジメント
13	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	東京海上アセットマネジメント
14	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信
15	ノムラ・ジャパン・オープン	野村アセットマネジメント
16	しんきん世界アロケーションファンド	しんきんアセットマネジメント投信
17	ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)	大和証券投資信託委託
18	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	大和証券投資信託委託
19	三井住友・げんきシニアライフ・オープン	三井住友DSアセットマネジメント
20	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)	ニッセイアセットマネジメント

※設定(運用スタート)後5年以上

1. お客さまにふさわしい金融商品・サービスを提供します。

- お客さまとの十分な対話のもと、お客さまの金融知識、取引経験、資産状況、取引目的等を把握したうえで、最適な金融商品・サービスを提供いたします。
- お客さまの多様なニーズに合った金融商品・サービスのラインナップの構築に努めます。

< 成果指標 (K P I) >

◇投資信託ラインナップ

(令和2年3月末現在)

商品カテゴリー		取扱商品数	取扱商品比率
債券	国内	1	3.3%
	海外	3	10.0%
株式	国内	8	26.6%
	国内外	3	10.0%
	海外	5	16.6%
リート	国内	2	6.6%
	海外	4	13.3%
バランス	国内	1	3.3%
	国内外	3	10.0%
合 計		30	100.0%

※新規販売停止中の商品は含みません。

※取扱商品比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

◇つみたてNISA専用投資信託ラインナップ

(令和2年3月末現在)

商品カテゴリー		取扱商品数	取扱商品比率
株式	国内	1	25.0%
	海外	2	50.0%
バランス	国内外	1	25.0%
合 計		4	100.0%

※取扱商品比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

◇保険商品ラインナップ

(令和2年3月末現在)

商品カテゴリー	払込	通貨	取扱商品数	取扱商品比率
定額個人年金	一時払	円建	1	5.8%
		外貨建	2	11.7%
	平準払	円建	2	11.7%
		外貨建	1	5.8%
定期保険	平準払	円建	1	5.8%
終身保険	一時払	円建	2	11.7%
		外貨建	2	11.7%
	平準払	円建	1	5.8%
医療保険	平準払	円建	4	23.5%
がん保険	平準払	円建	1	5.8%
合 計			17	100.0%

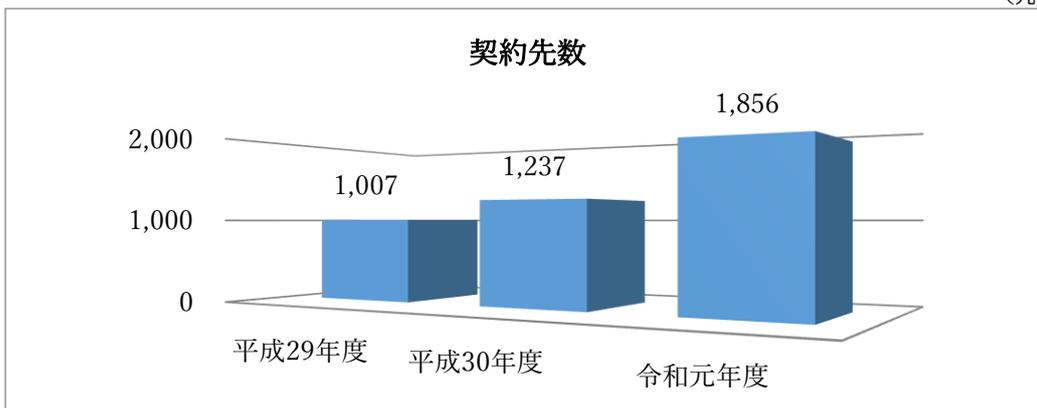
※販売休止中の商品は含みません。

※取扱商品比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

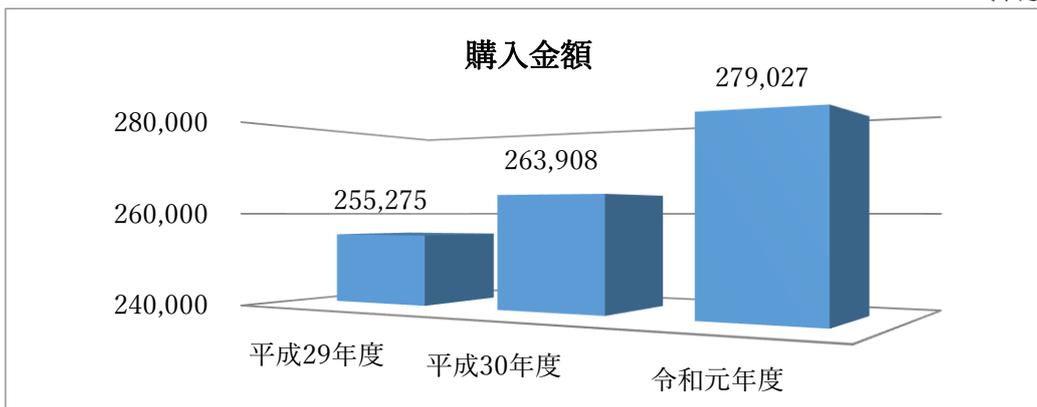


◇積立投信（投資信託定時定額購入）の契約先数および購入金額

(先)



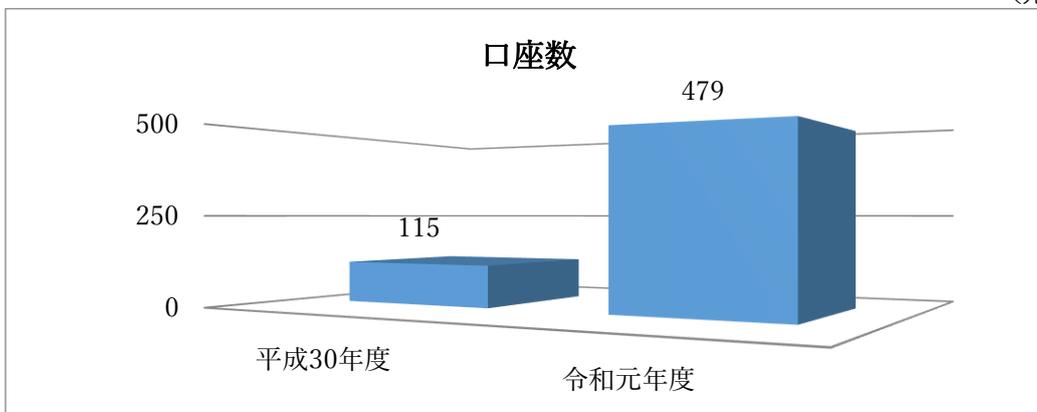
(千円)



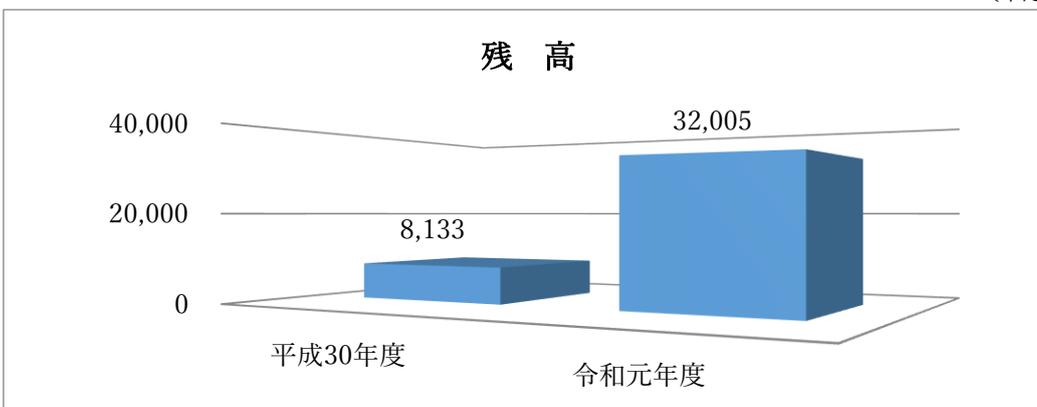
※購入金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

◇つみたてNISA口座数および残高

(先)



(千円)



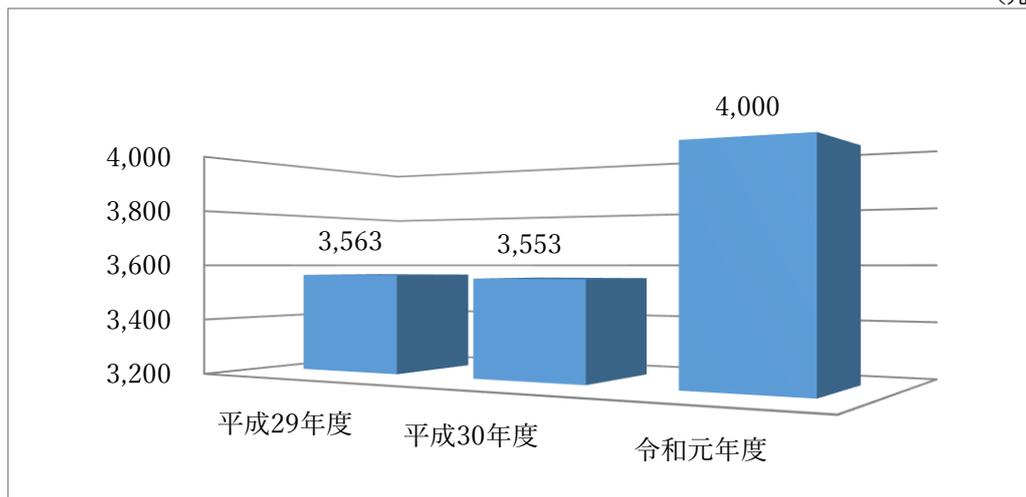
※平成30年1月より「つみたてNISA」開始。

※残高金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

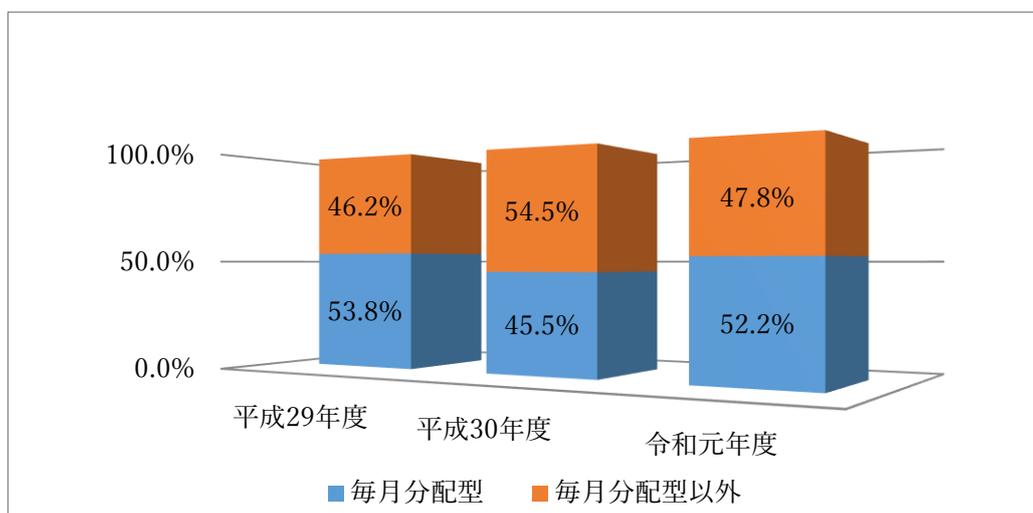


◇投資信託保有先数

(先)



◇投資信託販売額に占める「毎月分配型」販売額比率



◇投資信託の取扱状況 ～販売上位5銘柄～

(令和元年度)

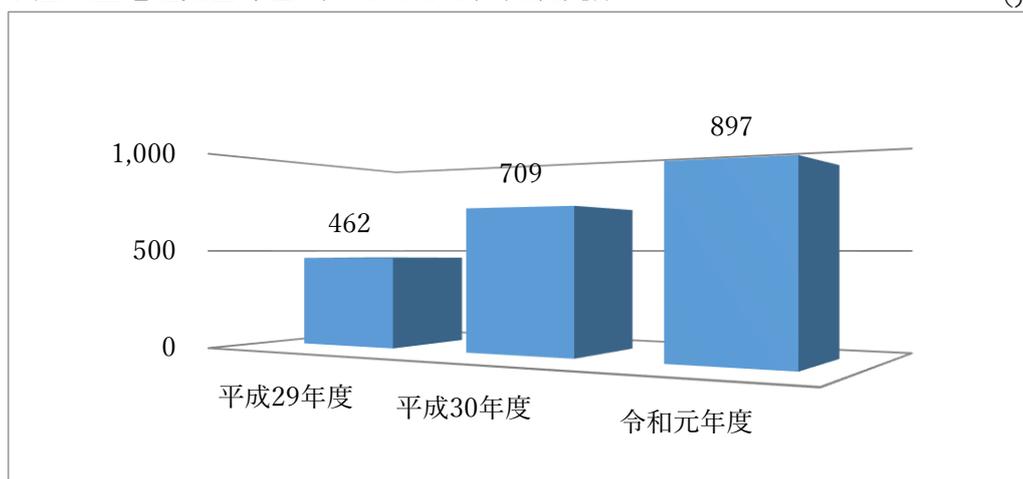
順位	投資対象	商品名	投信会社	販売比率
1	国内REIT	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	しんきんアセットマネジメント投信	34.9%
2	海外REIT	新光US-REITオープン	アセットマネジメントOne	11.7%
3	国内株式	しんきんインデックスファンド225	しんきんアセットマネジメント投信	11.1%
4	国内外株式	グローバルAIファンド	三井住友DSアセットマネジメント	5.0%
5	国内バランス	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	東京海上アセットマネジメント	4.2%

※販売比率は単位未満を切り捨てて表示しております。



◇個人型確定拠出年金（iDeCo）契約先数

（先）



2. お客さまとの取引に伴う利益相反を適切に管理します。
 - お客さまの利益を不当に害することがないように、利益相反の恐れがある取引等を類型化し管理を徹底いたします。
3. お客さまに重要な情報を分かりやすく提供します。
 - 取扱う金融商品・サービスの内容・リスク・リターン、取引条件、選定理由等、お客さまの金融知識や取引経験等を考慮したうえで、ご理解いただけるよう分かりやすくご説明いたします。
特に、取引経験の浅いお客さまやご高齢のお客さまについては、十分にご理解いただけるよう、より丁寧にご説明いたします。
 - お客さまにご負担いただく手数料その他の費用について、分かりやすく丁寧にご説明いたします。
 - 市場環境の変化や、ご提供した金融商品の運用状況のご説明など、適切なアフターフォローを行います。

<成果指標（KPI）>

◇投資信託アフターフォロー実施回数

年 度	実施回数
令和元年度	9,443 回

※お客さまの属性・保有状況に応じて、一定基準に基づき定期的を実施しております。
また、大きな相場変動等環境の変化に応じて機動的に実施しております。
※令和2年3月末投資信託保有先数4,000先（参考）

◇職域セミナー実施回数

年 度	実施回数
令和元年度	599 回

※当金庫では、「職域パートナー契約」を締結しております企業様の職場に出向き、従業員の皆様にお役立て頂ける、セカンドライフに向けた資産形成やライフプランに関する有益な情報をご提供するため、「職域セミナー」を積極的に実施しております。

4. お客様本位の業務運営を行う体制を整備します。

- 職員や店舗の業績評価については、お客様の多様なニーズに適う取組みを評価する評価体系の構築に取り組みます。
- 計画的な研修の実施により、専門知識とコンサルティング能力を備えた人材の育成に努めます。

< 成果指標 (KPI) >

◇ 資格取得者数 (CFP・AFP・FP1級・FP2級・FP3級取得延べ人数)

